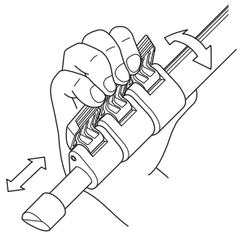
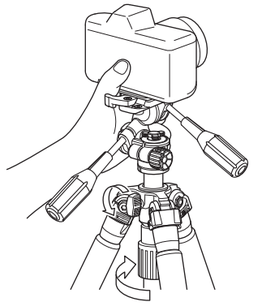
脚の伸縮



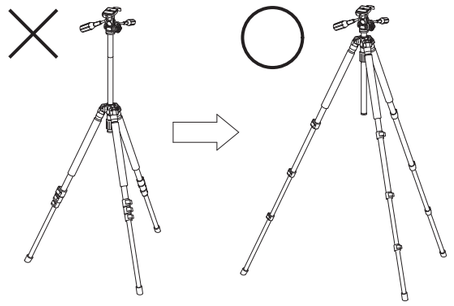
脚ロックレバーを開くと脚は伸縮できます。希望の位置でレバーをしっかりロックしてください。太いパイプを優先してご使用になると、グラつきが少なくなります。

脚を閉じた状態で、石突を下に向けて操作すると、扱いがらくです。

エレベーターの使い方

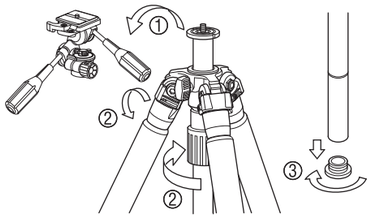


雲台に手をそえてエレベーターストッパー、エレベーターロックナットの順にゆるめます。雲台を上下させて位置が決まったら、手を離す前にしっかりとナット、ストッパーをロックしてください。



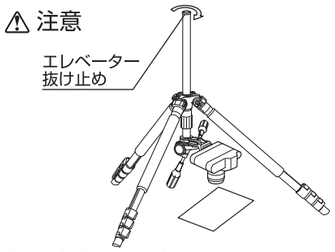
ブレ防止のため、エレベーターはなるべく短くしてご使用ください。
また、脚は太いパイプを優先してお使いください。

エレベーターの上下差しかえ



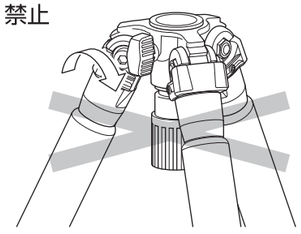
①エレベーターの上下差しかえまたは交換のときは、必ず雲台をはずしてください。
②エレベーターストッパーとエレベーターロックナットをゆるめます。
③エレベーター抜け止めを外しエレベーターをぬきとります。

⚠ 注意



入れかえが終わったらストッパーを締めつけ、落下防止のためエレベーター抜け止めを必ず取り付けてください。

⃠ 禁止



エレベーターを抜きとったままエレベーターストッパーを操作しないでください。
内部の部品が破損します。

お手入れ

- グリス、油の補給はしないでください。
- よごれたときには、中性洗剤をやわらかな布につけてふいてください。その後、きれいな乾いた布でふいてください。
- 火に近づけないようにしてください。夏など高温になる車内などに長時間放置しないでください。

＊改良のため、お断りなくデザイン、仕様を変更することがありますのでご了承ください。

©2012 SLIK CORPORATION

アフターサービス

製品の修理に関してはお買い求めの販売店または販売元のケンコー・トキナーへご依頼ください。
本製品の補修用性能部品は製造中止後5年を目安に保有しております。
したがって本期間中は修理をお受けいたします。

インターネット・ホームページ　http://www.slik.co.jp/

スリック株式会社
本社/〒350-1231 埼玉県日高市鹿山853

スリック製品販売元
株式会社 ケンコー・トキナー
〒161-8570 東京都新宿区西落合3-9-19 Tel. 03-5982-1060

SLIK®

プロ 330 HD
プロ 340 HD

取扱説明書

このたびは、スリック製品をお買い求めいただきまことにありがとうございます。ご使用前にこの説明書をよくお読みいただき正しく、十分に性能を生かしてお使いください。お読みになったあとは必ず保管し、わからないときには再読してください。

⚠ 注意 このマークは取扱いを誤った場合、人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容です。

⃠ 禁止 このマークは禁止（してはいけないこと）内容です。
説明にしたがい事故のないようお使いください。

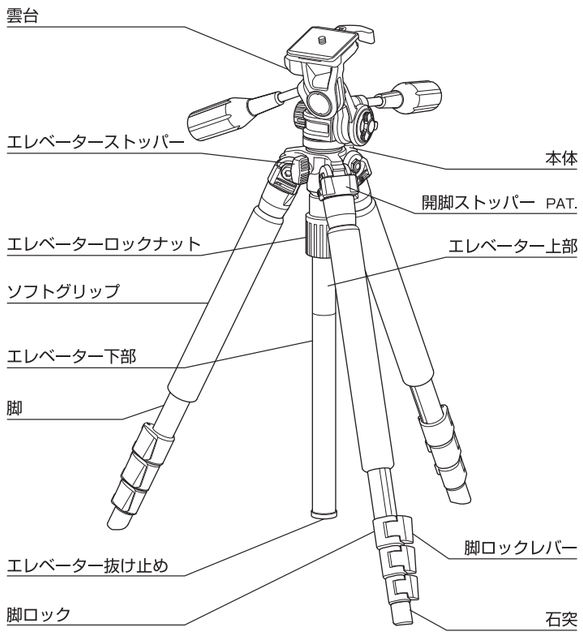
P411

仕様

プロ 330 HD	
縮長	596 mm
全高	1,606 mm
EVスライド	350 mm
質量	1,840 g
プロ 340 HD	
縮長	490 mm
全高	1,454 mm
EVスライド	290 mm
質量	1,760 g

三脚ケース付

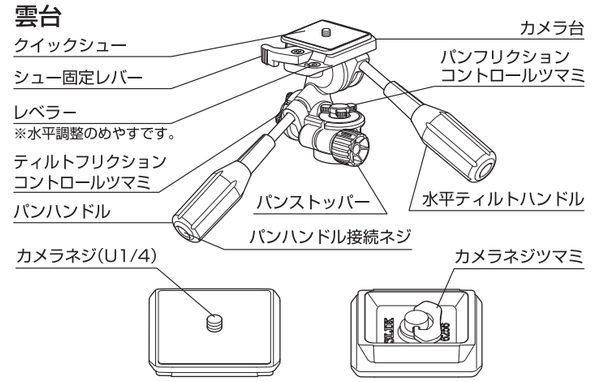
各部名称



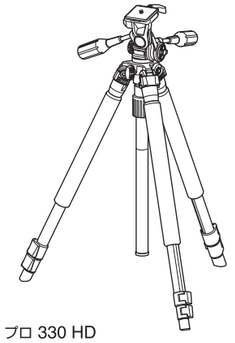
プロ 340 HD

⚠ 注意
ソフトグリップは消耗品です。永久的に使用できるものではありませんので傷んだらお買い求めの販売店または販売元のケンコー・トキナーへご依頼ください。
（無料修理保証の対象外です。）
※まれに黒い色が付着することがありますのでご注意ください。

雲台



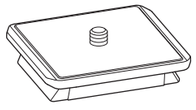
※三脚用レベラーは水平調整のめやすです。
カメラ内蔵のレベラーとは精度が異なります。



プロ 330 HD

別売品

スペアー用クイックシュー
6256N SH-726E N 用



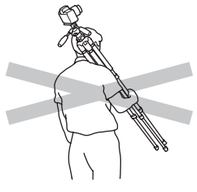
搭載する機材

⃠ 禁止

この製品の固定力は、3kg位までの機材を載せるように作られています。これ以上の機材は載せないでください。
フリクションコントロール機能については2kgまでとなります。
また、上記搭載質量以下のものであっても重心位置によりバランスの取りにくいものもあります。
そのようなときは、上のクラスの雲台をお使いください。

持ち運びのとき

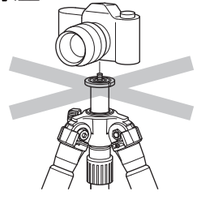
⃠ 禁止



三脚にカメラを取り付けたまま移動すると、思わぬ事故を起すことがあります。
カメラは三脚から外して運搬してください。

雲台取り付けネジ

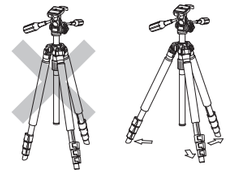
⃠ 禁止



カメラを直接エレベーターに取り付けることは故障の原因になります。
雲台などを介してお取り付けください。

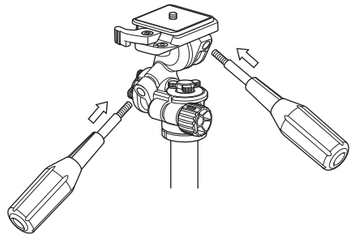
機材の取り付けとセットアップ

⚠ 注意



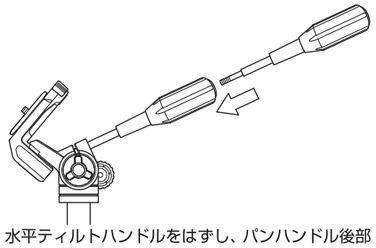
カメラの取り付け、ハンドル、ツマミ、レバー類のロックは確実に行って、落下や転倒を防いでください。
また、3本の脚を十分に開いてください。脚の開きが不十分だと不安定でカメラブレや転倒の原因になります。

パンハンドルの取り付け



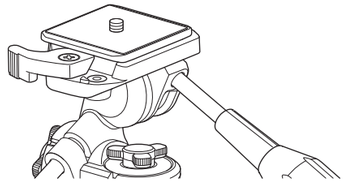
雲台に2本のハンドルを取り付けます。
ハンドルに長・短はありません。どちらにも取り付けることができます。

収納



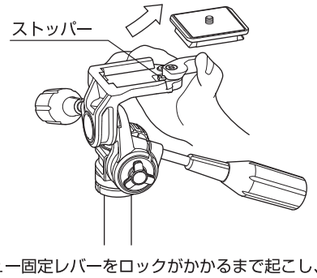
水平ティルトハンドルをはずし、パンハンドル後部のパンハンドル接続ネジにねじ込んでください。
コンパクトに収納できます。

レベラー

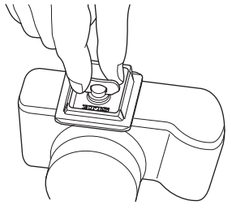


カメラ台の上部にあるレベラーを使用すると、写真撮影時の水平出しのめやすとすることができます。ムービー撮影時は、脚の長さ調整で三脚自体の水平を出します。雲台の水平調整だけでは、パンニング撮影の水平が出ません。

カメラの取り付け方

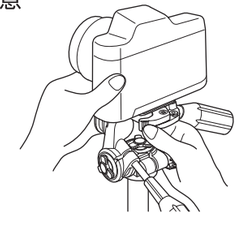


シュー固定レバーをロックがかかるまで起こし、クイックシューを固定レバー側に斜めに引き抜きます。
このときシュー固定レバーは、ストッパーにより起きた状態になっていますので、無理にもどさないようにしてください。



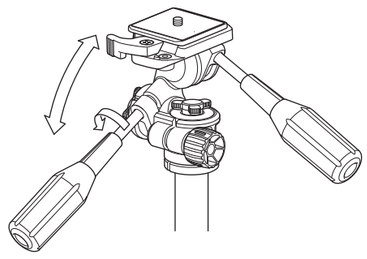
シューの裏側の「SLIK」の文字がカメラレンズ側にくるように位置決めをします。
カメラ底面とクイックシュー上面が平行になるように手で支えながら、カメラネジツマミでしっかりと締め付けます。

⚠ 注注意

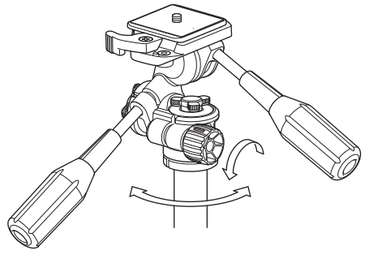


カメラ付きのシューをカメラ台のシュー固定レバー側からセットすると、シュー固定レバーは自動的に閉じますがさらにレバーを固定側に締め確実に固定します。カメラと雲台の固定を確認してから、手を離してください。

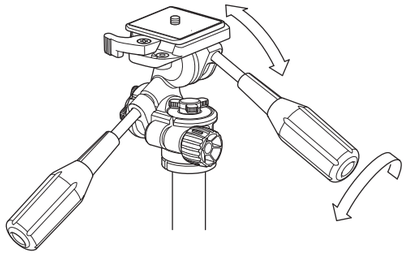
雲台の使い方



パンハンドルをゆるめると、前後にティルトできます。

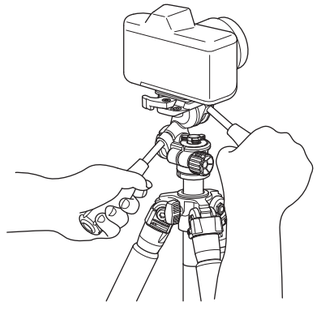


パンストッパーをゆるめると、水平に回転できます。



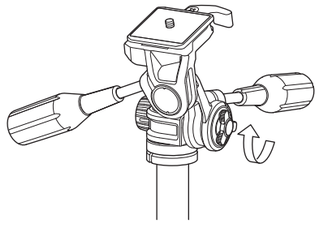
水平ティルトハンドルをゆるめると、水平調節ができます。

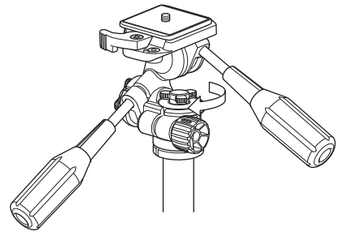
⚠ 注意



パンハンドル／水平ティルトハンドルをゆるめたときは、固定するまでしっかり握って操作してください。

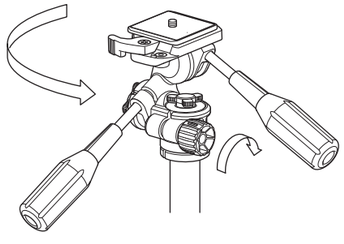
ムービー撮影の方法





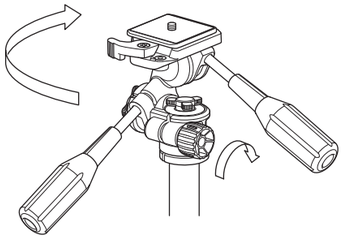
パンハンドルをゆるめた状態で、ティルトフリクションコントロールツマミを締めると、ティルト方向の動きが固くなります。パンストッパーをゆるめた状態で、パンフリクションコントロールツマミを締めると、パン方向の動きが固くなります。パンハンドルをゆるめすぎると、滑らかな操作は出来なくなります。
機材の重量や好みに合わせて、動作の固さを調整でき、ムービー撮影に合わせた動きを実現できます。ツマミの調整範囲は一回転以内です。
このツマミの締め付けだけではカメラは完全に固定されませんので、パンハンドルから手を離すときは、必ずパンハンドル･パンストッパーを締め付けてください。

雲台の取り外し



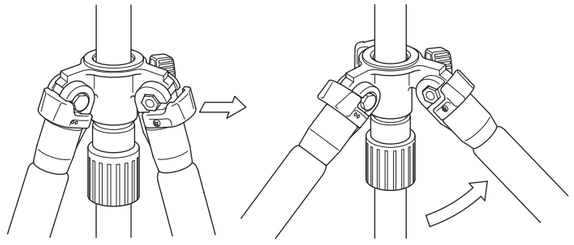
雲台を取り外すときは、始めに、エレベーターをエレベーターストッパーでしっかり固定します。次に、雲台のパンストッパーをしっかり締め込み、パンハンドルと水平ティルトハンドルを握って力強く反時計まわりに雲台をまわします。これで雲台がゆるみます。

雲台の取り付け



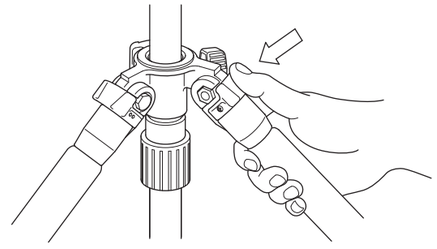
雲台と三脚のネジを合わせます。
雲台を時計まわりに止まるまでまわします。
パンストッパーをきつく締めて、さらに雲台を時計まわりにねじこみます。
パンストッパーをゆるめると通常にパンニングできます。

開脚角を変える



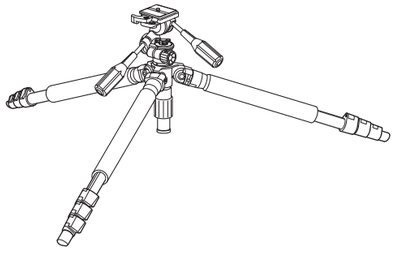
標準の開き位置から脚を少し閉じるようにして、開脚ストッパーを引き出すと残り二つの開脚角（ミドル、ローポジション）がえらべます。

⚠ 注意

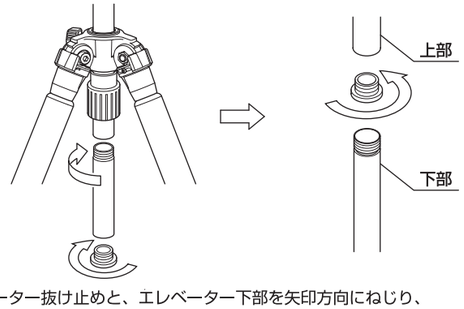


使用角度が決まったらストッパーをつきあてにあたるように確実にもどしてください。

ローポジション



エレベーター下部を取り外すことにより、より地面に近い位置からの撮影が可能です。



エレベーター抜け止めと、エレベーター下部を矢印方向にねじり、取り外します。
取り外したエレベーター抜け止めは、エレベーター上部の下側に必ず取り付けてください。